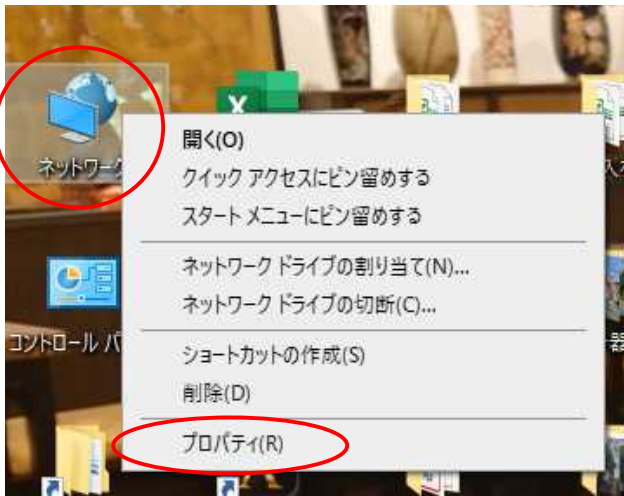


スキャナーができなくなった時の設定変更



「ネットワーク」を右クリック

「プロパティ」をクリック



「共有の詳細設定の変更」をクリック

関連項目
Windows Defender ファイアウォール
インターネット オプション

別のネットワーク プロファイル用に共有オプションを変更します

Windows では、使用するネットワークごとに別々のネットワーク プロファイルが作成されます。各プロファイルに対して、特定のオプションを選択できます。

プライベート (現在のプロファイル)

ネットワーク探索

ネットワーク探索を有効にすると、このコンピューターは他のネットワーク コンピューターやデバイスを参照できるようになり、また他のネットワーク コンピューターからもこのコンピューターを参照できます。

- ネットワーク探索を有効にする
- ネットワークに接続されているデバイスの自動セットアップを有効にする。
- ネットワーク探索を無効にする

「レ点」がついていたら、はずしてください

ファイルとプリンターの共有

ファイルとプリンターの共有が有効な場合、このコンピューターで共有しているファイルとプリンターは、ネットワーク上のユーザーからアクセス可能になります。

- ファイルとプリンターの共有を有効にする
- ファイルとプリンターの共有を無効にする

ゲストまたはパブリック

すべてのネットワーク

変更の保存

キャンセル

「下矢印」をクリック

パブリック フォルダ内の共有が有効な場合、ネットワーク上のユーザー (ホームグループのメンバーなど) はパブリック フォルダ内のファイルにアクセスできます。

- 共有を有効にして、ネットワーク アクセスがある場合はパブリック フォルダ内のファイルを読み書きできるようにする
- パブリック フォルダの共有を無効にする (このコンピューターにログオンしている場合はこれらのフォルダにアクセスできます)

メディアストリーミング

メディアストリーミングが有効である場合、ネットワーク上のユーザーとデバイスは、このコンピューター上のビデオ、ミュージック、ビデオにアクセスできます。また、このコンピューターでネットワーク上のメディアを検出できます。

[メディアストリーミング オプションの選択...](#)

ファイル共有の接続

Windows では、128 ビット暗号化を使用してファイル共有の接続が保護されます。デバイスによっては 128 ビット暗号化をサポートしないため、40 ビット暗号化または 56 ビット暗号化を使用する必要があります。

- 128 ビット暗号化を使用してファイル共有の接続を保護する (推奨)
- 40 ビット暗号化または 56 ビット暗号化を使用するデバイスのためのファイル共有を有効にする

パスワード保護共有

パスワード保護共有が有効の場合、このコンピューターでユーザー アカウントとパスワードを持つ人だけが、共有ファイル、このコンピューターに接続しているプリンター、パブリック フォルダにアクセスできます。他の人がアクセスできるようにするには、パスワード保護共有を無効にしてください。

- パスワード保護共有を有効にする
- パスワード保護共有を無効にする

変更の保存

キャンセル

「パスワード保護共有を無効にする」をクリック

「設定の保存」をクリック